令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績

事	務事	業名		ューアル事業費					担当所属	動物園				
基.	分	野	6産業・観光					事業期間	平成20)年度 ~	令和:	14年度		
本情	基	本施領	5 観光交流の	推進				会計種別						
報	推	進施領	3 徳山動物園	の魅力向上				実施計画	該当	総合	戦略	該当		
	7	寸 象	動物園施設全般											
事業	ī	意 図	動物園の全面リニューの拡大や「まち」の流											
概要	要 成果 30年8月にペンギンプール・ふんすい広場が順次オープンした。南園においては平成31年4月にゾウ舎、令和4年8月に熱帯サル舎の完成に伴い、アジアの 帯雨林ゾーンが完成し、動物園の魅力向上とともに事業の進捗が図られた。													
	Ш	F 段	老朽化が進む動物	園の全面リニューアルを計画的	い動	物園として整備し	ていく。							
				指標名		単位		R2年度実績	R3年度実		度実績	R5年度見込		
指	汪	動指標	整備進捗率(面積ベース)		目標値	%		43.8	45.4	4	5.7	46.7		
標	"	לו בו נע ב	K		実績値	%		35.7	43.8	4	5.4	-		
					目標達成度	%			96.5		9.3	-		
			(単位:千円)	平成31年度決算	令和2年度決		令和3年度		令和4年		令和	5年度 予算		
		タルニ		172,413	372,5				290,734			41,236		424,804
		事業		163,918	344,8		257,137					392,881		
		特	国庫支出金 県支出金	39,454 0	155,8	07		,		52,911		169,800 0		
٦		定	地方債	75,200	123,8	•	100,200		•			181,500		
		財	受益者負担	75,200	125,0	0		0		39,400	,			
ス		源		0		0				21	0 0			
 		<u> </u>	その他 般財源		65.3	·		0		18,062		19,300		
			^{政別派} 妻合計	49,264 8,495		65,289		37,466 33,597		30,842		22,281 31,923		
			<u> </u>	8,495		27,690 27,690		33,597		30,842		31,923		
			職員以外	0,133	27,0	0		0		0		0		
			事業費集計済分)	(0)		0)		(0)		(0)		(0)		
	正	餓員	(人)	1.17	3.8	7		4.73		4.28		4.43		
員	正	餓員以	外 (人)	0.00	0.0	0		0.00		0.00		0.00		
	開始時の周辺環境													
	刃チ	135年	2月に関係した徳山新	物周は 国内協設の老なん	が茎! / また 展示:	亡注が刊田:	≠ −	ブや動物属レフ	の体会学に	育◆! か/か	ってキたマル	から 動物国の		

)

昭和35年3月に開園した徳山動物園は、園内施設の老朽化が著しく、また、展示方法が利用者ニーズや動物園としての使命等に適合しなくなってきたことから、動物園の全面リニューアルを進める必要がある。

現状の周辺環境

境

変

化

等

案

平成21年度に「徳山動物園リニューアル基本計画」を策定し、平成25年度から工事に着手している。 令和2年度に計画策定時からの環境変化や市の財政状況等を 踏まえ、基本計画の事業期間や全体事業費等について見直しを行った。

今後の予想される周辺環境

基本計画に基づき、令和14年度の事業完了に向け、着実な事業進捗を図る。

			評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市(の関与(税金支出)	Α	動物園の全面リニューアルを実施し動物園の魅力向上を図ることで来園者数の増加や中心市
	当日	2. 事	務事業の目的(対象・意図)	Α	街地の賑わいの創出につなげる。
	性的	3. 事	務事業の目標(活動指標等)	Α	
	_	4. 計i	画の実施状況	В	令和4年度に熱帯サル舎の整備を終え、アジアの熱帯雨林ゾーン全体の供用を開始したが、
	有効	5. 目	票(活動指標等)の達成度	В	野鳥観察保護飼育ケージの建設を翌年度に繰越したため、整備完了が令和5年度となった。
評	性	6. 上	立施策への貢献度	Α	
価		7.事	業成果の向上へのさらなる取組を	ት A	
	効	8. 37	ト削減へのさらなる取組み	Α	動物園リニューアル事業は、動物園を取り巻く状況、期待される役割の変化や市の財政状況等
	率	9. 類(以事業との統合・代替の検討	Α	を踏まえ、令和2年度に基本計画の見直しを行い、計画的に整備を進めていく。
	性	10. 8	これまでの実施手段	Α	
	総		動物園リニューアル事業は、令和2年	F度に事業の中間年と	して進捗等を再確認し、基本計画の見直しを行っており、事業精査をしながら計画的に整備を
	合	Α	進めている。		
	評	_ ^			
	価				
	今後	の実施方	向性 維持	動物園リニューアル事	業は、平成25年度の工事着手以降、順次整備を進めてきたが、事業開始から10年が経過し

 今後の実施方向性
 維持

 成果方向性
 成果維持

 コスト方向性
 コスト維持

動物園リニューアル事業は、平成25年度の工事着手以降、順次整備を進めてきたが、事業開始から10年が経過した令和2年度に中間年の見直しとして基本計画を変更した。今後についても社会環境の変化等を考慮し、事業精査を行いながら進めることとしている。

改革効果(どのような効果が期待できるか)

・事業の効率化、最適化 ・魅力向上による集客増に伴う入園料収入の増(管理運営費における自主財源比率の向上)

令和5年度 事務事業評価表 (令和4年度実績)

		ラ <u>ー</u> 業名	1	注:「四爻	י דוינו			,	担当所属	動物園		
基	5	野	6産業・観光					事業期間		^	. 4	· k年
本	,		5 観光交流の	H# \#				会計種別			2 2	\
情				-						444	141) m/z	
報	雅	進施策	3 徳山動物園					実施計画		総合	戦略	
	3	対 象	徳山動物園の管理	運営に関する全般								
事業	ī,	意図	本市有数の情報発	《信・交流拠点として、動物園	(に市内外から多くのき	来園者を迎え	える体	は制を確保すること	で、その役割を	果たすことが	ができる。	
概要	J.	動物園を交流拠点施設として、また、社会教育施設として管理運営することにより、交流人口の拡大や市民のレクリエーション機能の充実を図ることができるとともに、動物を通じて、自然環境に対する見識の向上を図る。										
	事業概要】動物園を交流拠点施設として、また、社会教育施設として、管理運 ・											F算管理執行、
		指標名			単位			R3年度実統	責 R4年	度実績	R5年度見込	
指	汗	動指標	徳山動物園の入園者数		目標値	人		210000	300000	30	0000	300000
標	/0	勤 1日1示			実績値	人			208499	26	3406	-
					目標達成度	%	% 93.2		69.5	8	7.8	-
			(単位:千円)	平成31年度決算	令和2年度決	算 令	和3	年度 決算	令和4年度	決算	令和	5年度 予算
		-タルコス	(104,087	104,8			103,045		17,786		134,712
		事業費		80,053	78,5			83,583	8	37,377		103,294
			国庫支出金	0		0		0		0		0
			県支出金	0		0		0		0		0
J		H-1	也方債	0		0		0	_		0 (
ス) NE 2	受益者負担	51,493	24,3	54		16,259		29,998	39,011	
ト		<i>''</i> '' ₹	その他	0		0		7,982	-	10,760	12,630	
			財源	28,560		54,195		59,342				
		人件費		24,034		26,259		19,462		30,409		31,418
		正職		24,034		26,259		19,462		30,409		31,418
			員以外	0	23,9			25,262		26,567		28,406
	_		業費集計済分)	(0)	(23,98			(25,262)	(2	6,567)		(28,406)
		哉員 **= \\ <i>T</i>	<u>(</u> 人)	3.31	3.6			2.74		4.22	4.36	
員		哉員以夕 ****		0.00	11.3	5		10.37	1	.0.39		11.34
	開始時の周辺環境											
	杰山	1番/物(書)	+ 1口徳山市の古生	施行25周年を記念して昭和	□35年3月30日 に既	唐						

徳山動物園は、旧徳山市の市制施行25周年を記念して昭和35年3月20日に開園

現状の周辺環境

境

化

等

平成25年に動物園のリニューアル事業工事に着手し、平成28年3月周南の里ふれあいゾーン、平成29年10月自然学習館、野鳥観察所、平成30年8月ペンギンプール、噴水広場、平成31年4月ゾウ舎、令和4年8月アジアの熱帯雨林ゾーンが完成している。50000㎡の園内に105種505点の動物を展示(令和5年3月末現在)

今後の予想される周辺環境

動物園リニューアル事業は、近年の市の財政状況や計画策定時からの環境変化等を踏まえ、令和2年度に基本計画の見直しを行い、令和14年度完了に向けて事業を 進めていく。

				-
		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	Α	市の交流拠点施設として、動物園は重要な施設であり、動物を通じた「命の学習」、「環境学
	当前	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	習」の拠点施設であるとともに、地域の賑わいづくりにも寄与している。
	性的	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	
	_	4. 計画の実施状況	В	令和4年度の入園者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止していた小動物のふ
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	В	れあい体験等のイベントを再開したこともあり、前年から増加したが、コロナ禍の影響で当初の見
評	性	6. 上位施策への貢献度	В	込みを下回るものであった。
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	Α	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	維持管理経費等については毎年精査しており、これ以上の削減は難しいが、可能な限り自主財
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	源の確保(堆肥や作成物品の販売等)に努める。
	性	10. これまでの実施手段	Α	
	総	動物園管理運営業務については、安心安全を	第一に運営	営を行っている。今後、リニューアル事業の進展に伴い窓口業務体制の見直しを行う。
	合	Δ		

今 评 ·

案

今後の実施方向性 維持

動物園は、本市における重要な観光交流拠点施設であるとともに、「いのちの博物館」として、種の保存、環境教育等の重要な役割を担っており、今後も、適切に管理運営をしていく必要がある。

 改革
 成果方向性
 成果維持

 コスト方向性
 コスト維持

改革効果(どのような効果が期待できるか)

リニューアル事業の進展に合わせて、動物園の魅力向上、入園者数増につなげていく。

令	和	5年	度 事務事	業評価表 (令和]4年周	度実	ミ績)					
事	务事	厚業名	動物園教育							担当所属	動物園			
基	5) 野	6産業・観光						事業期間			~ <i>ī</i>	k年	
本情	基	本施策	5 観光交流の	 推進					会計種別					
報	推	進施策	3 徳山動物園	の魅力向上					実施計画		総	合戦略		
	3	対 象		された方、また、徳山動物 園										
事業	7	意図	資するもの	た方などに、動物の情報や動										
概要	成果 ものとなった。													
	教育イベントやプログラム、コンクールの実施、講演 手段					g会の開催、各種解説の表示などで、入園者が動物の								
				指標名				単位		R3年度実		年度実績		
指	活	動指標	教育イベントの延	経済を担当を表す。	目標			人	15000	15000	_	15000	15000	
標	/□ 至/ 〕日1示				実統			人	8354	7484		13015	-	
								%	55.7			86.8	-	
		5 11 7	(単位:千円) 7.	平成31年度 決算	令和 2 5	年度 決算	_	令和3	年度 決算	令和4年			5年度予算	
		-タルコ. 事業費		21,653		7,66			16,915		11,560		11,999 758	
			<u>!</u>	887		50	0		862		679)	758	
	特						0			-	0			
J			地方債	0			0		0		(0	
ス		I B→ I	受益者負担	887		06		862		679	9	758		
<u>۲</u>		酒	その他	0			0		0		(0	
•			<u>でいる</u> 投財源	0	0				0				0	
		人件費		20,766	7,155		55			10,881		1	11,241	
			哉員	20,766		7,15		16,053		10,881			11,241	
			睵員以外	616		328			0		0		0	
	_		事業費集計済分)	(616)	(328)			/)	(0)	
人		職員 職員以	(人)	2.86		1.00			2.26		1.51		1.56	
員	_			0.30		0.10)		0.00		0.00		0.00	
環	昭和	135年の		コンクールを県下3園館で実施	包									
境		状の周辺		±1 = 1 ± 1 # = ± = + 1	15 metro (1 = 1	A 1. 1% 11 = 1	A TT-1	- 444 - 41 - 11	181	m 1 + 114 = 2 · 5 =				
変	動物	勿画コン!	フールなどに加え、字材	交との連携の中での総合学習	や職場体験	検など、体験	発型の	う学びも求め	かられている。またり	環境学習に関す	ずる取組の	の重要性が	増している。	
化	^	** A 7 :	日本かっ国いり開始											
等			想される周辺環境 環境意識」や「命の尊る	さ」に気付く機会となる体験型	・参加型の	プログラム、	また!	リモートで利	J用できるプログラ <i>L</i>	ムが求められてい	۱۲.			
			評価項	目	評価					評価の理由				
	_	1.	市の関与(税金)		A	市営の動	物原	園として、動!	物を通じた環境学		びを提供	していくことに	は重要な使命であ	
		■	事務事業の目的		A	る。	_	/2			•			
	性	19	事務事業の目標		A	1								
		_		(/山圭/)1日(水寸 /		空子 ガラロー	十户。	/ルフ戌幼派	方止のため、体験[力突が判にはキャ	1 性// 🖂	はながまます。	ナハただノノニュ	
	有	i	計画の実施状況	な) の法代序	В				カエのにめ、体験i た、地域の行事に					
		' 5.	目標(活動指標等	弄)()):羊加.ぼ	l B	シスルピリ	(2)	011 71C0 B	ハン・ロース・シー コヨール	-"1120 (01/0-		ハー しく ~じょうXV	シェ シェルロ(所)	

		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	Α	市営の動物園として、動物を通じた環境学習や、命の学びを提供していくことは重要な使命であ
	一当的	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	<u>వ</u> .
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	
	=	4. 計画の実施状況	_	新型コロナウイルス感染防止のため、体験内容が制限され、特に団体で参加していただくメニュー
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	В	の実施ができなかった。また、地域の行事に派遣していたミニZOOなども、地域のイベントが自粛
評	性	6. 上位施策への貢献度	В	されたため、利用は限られた。
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	環境学習と命の学習について、引き続き取り組んでいく。
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	
	性	10. これまでの実施手段	Α	
	総	動物園は、「いのちの博物館」であり、動物を通	して、「自然	環境」や「いのち」について学ぶ場であることが大切である。

Α

今後の実施方向性 維持 成果方向性 成果維持 改 コスト維持 コスト方向性 革

動物園は、「いのちの博物館」という使命をもって、今後も教育普及活動に取り組んでいく。

改革効果(どのような効果が期待できるか)

アフターコロナの社会変化に応じたプログラムの形態や情報提供の手法について、広く検討が必要である。 また、職場体験や学校への小動物貸し出し等のニーズの高い取 り組みは、ITを利用しながら進めていく。

令	和	5年	度 事務事	業評価表 (令和4年	度実績)			
事	務事	事業名	動物園飼育	育事業費				担当所属	协物園	
基	5.) 野	6産業·観光				事業期間		~ ;	永年
本情	基	本施策	5 観光交流の	推進			会計種別			
報	推	進施策	3 徳山動物園	 の魅力向上			実施計画		総合戦略	
事		対象	徳山動物園の飼育	f動物 飼育管理し、また繁殖、調達	することで、種の保存	字に取り組み、維	迷続的な動物園業系	祭の実現を図るも	ეთ.	
学業 概 要		意図								
	動物福祉に配慮した適正な飼育環境を維持し、必要な飼料を準備する。									
	指標名				単位	R2年度実績	R3年度実績			
指	活	動指標	繁殖推進種繁殖	目標値	%	30	30	30	30	
標	"				実績値	%	33	36	42	_
					目標達成度	%	110.0	120.0	140.0	
		_	(単位:千円)	平成31年度 決算	令和2年度決	算 令和	3年度決算	令和4年度	決算 令和	5年度 予算
	<u>۱</u> -	-タルコス		110,992	令和2年度決 112,4	算 令和 147	3年度決算 103,007	令和4年度 12	決算 令和 8,969	135,353
	١-	事業費	(1-	110,992 31,048	令和2年度決	算 令和 147 377	3年度 決算 103,007 31,409	令和4年度 12	決算 令和 8,969 6,300	135,353 42,972
		事業費	国庫支出金	110,992 31,048 0	令和2年度決 112,4	算 令和 147 377 0	3年度 決算 103,007 31,409 0	令和4年度 12	決算 令和 8,969 6,300 0	135,353 42,972 0
_	 	事業費特別	(卜 国庫支出金 県支出金	110,992 31,048 0 0	令和2年度決 112,4	算 令和 147 377 0 0	3年度決算 103,007 31,409 0 0	令和4年度 12	決算 令和 8,969 6,300 0 0	135,353 42,972 0 0
	 	事業費特定財	(卜 国庫支出金 県支出金 也方債	110,992 31,048 0 0	令和2年度決 112,4 29,3	算 令和 447 377 0 0	3年度決算 103,007 31,409 0 0	令和4年度 12 3	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0	135,353 42,972 0 0
ス	 	事業費特定財源	以下 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担	110,992 31,048 0 0 0 31,048	令和2年度決 112,4 29,3 29,0	算 令和 147 377 0 0 0 0 054	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555	令和4年度 12 3	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 0 66,046 0	135,353 42,972 0 0 0 41,842
	 	事業特定財源	(ト 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他	110,992 31,048 0 0 0 31,048	令和2年度決 112,4 29,3 29,0	算 令和 147 377 0 0 0 0 054 323	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854	令和4年度 12 3	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 0 6,046 254	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130
ス		事業 特定財源 一般	は 国庫支出金 見支出金 地方債 受益者負担 その他 との他 と対源	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0	令和2年度決 112,4 29,3 29,0	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 054 323 0	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854	令和4年度 12 3	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130
ス		事業 特定財源 一般 (本)	(ト 国庫支出金 県支出金 也方債 受益者負担 その他 財源 合計	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 054 323 0	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598	令和4年度 12 3 3	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381
ス	 	事業 特定財源 一般正明 人	(ト 国庫支出金 県支出金 也方債 受益者負担 その他 設財源 合計	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 054 323 0 070	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598	令和4年度 12 3 3 3	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381
ス	 	事業 特定財源 一件正正	(ト 国庫支出金 県支出金 也方債 受益者負担 その他 設財源 合計 銭員	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 070 070	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661	令和4年度 12 3 3 3 9	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075
スト		事	(ト 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 設財源 合計 銭員 銭員以外 野業費集計済分)	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041)	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 770 769 59)	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661)	令和4年度 12 3 3 9 9	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244)	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075)
スト	正章	事業 特定財源 一件正正	(ト 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 設財源 合計 銭員 銭員以外 事業費集計済分) (人)	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041) 11.01	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76 11.6	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 0 7 0 0 7 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661) 10.08	令和4年度 12 3 3 9 9	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244 5,244 5,244 0	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075) 12.82
スト	正理開加	事 特 定 財 源 一件 正正 員員 時 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 ・財源 合計 ・競員 ・競員以外 ・選費集計済分) ・(人) ・(人)	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041)	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76 11.6 3.9	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 0 7 0 0 7 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661)	令和4年度 12 3 3 9 9	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244)	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075)
スト 人員 環	正正開始	事 特 定 財 源 一件 正正 員員 時 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 設財源 合計 銭員 銭員以外 事業費集計済分) (人) ト (人)	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041) 11.01 1.60	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76 11.6 3.9	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 0 7 0 0 7 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661) 10.08	令和4年度 12 3 3 9 9	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244 5,244 5,244 0	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075) 12.82
スト 人員 環境	正正開昭	事 特定財源 一件正正 員員時の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 設財源 合計 銭員以外 選費集計済分) (人) (人) りつでである。 同に80種350点の原 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041) 11.01 1.60	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76 11.6 3.9	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 0 770 0 769 59)	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661) 10.08 1.60	令和4年度 12 3 3 9 9 1	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244 1,60	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075) 12.82 1.60
スト 人員 環境変	止正 開 昭 現 物	事 特定 財源 一件 正正 (員員時 の 周 関 の の 周 園 の の の の の の の の の の の の の の の の	は 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 設財源 合計 銭員以外 選費集計済分) (人) (人) りつでである。 同に80種350点の原 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041) 11.01 1.60	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76 11.6 3.9	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 0 770 0 769 59)	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661) 10.08 1.60	令和4年度 12 3 3 9 9 1	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244 1,60	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075) 12.82 1.60
スト 人員 環境	正正開始の野の原	事 特定 財源 一件 正正 (員員時 の 開 駅 の 開 駅 の の 開 駅	は 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 財源 合計 域員 域員以外 事業費集計済分) (人) ト (人) 引辺環境 同に80種350点の原 型環境 後、昭和46年には1	110,992 31,048 0 0 0 31,048 0 0 79,944 79,944 4,041 (4,041) 11.01 1.60	令和2年度決 112,4 29,3 29,0 3 83,0 83,0 10,7 (10,76 11.6 3.9	算 令和 147 377 0 0 0 0 0 0 554 323 0 0 0 0 770 0 769 59)	3年度決算 103,007 31,409 0 0 0 30,555 854 0 71,598 71,598 4,661 (4,661) 10.08 1.60	令和4年度 12 3 3 9 9 1	決算 令和 8,969 6,300 0 0 0 6,046 254 0 2,669 2,669 5,244 5,244 1,60	135,353 42,972 0 0 0 41,842 1,130 0 92,381 92,381 5,075 (5,075) 12.82 1.60

野生動物保護の観点から、動物の輸入は年々困難になっている。動物の購入・導入については、ブリーディングローンの適切な運用などで、機会をとらえた動物の確保を進 めていく必要がある。

		評価項目	評価	評価の理由
	妥 _	1. 市の関与(税金支出)	Α	継続的な動物園業務の実現を図るため、また、動物園の大きな役割の一つである「種の保存」
	当前	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	という観点からも、展示動物の適切な飼育管理は必要である。
	性	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	
	_	4. 計画の実施状況	Α	リニューアル後の飼育計画種などを中心に、繁殖を推進し、動物の補充を進めている。
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	Α	
評	性	6. 上位施策への貢献度	Α	
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	Α	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	動物園の飼育動物は、野生から調達するものによるのではなく、動物園内で繁殖させ確保する
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	必要性が高まってきている。
	性	10. これまでの実施手段	Α	
	総	動物園の重要な役割である「種の保存」を実践	できるように	適正な飼育管理を行っていかなければならない。動物たちの元気な姿を多くの市民にご覧いただ
	合	★ き、学びと楽しさのある動物園として引き続き役割	割を果たして	ていく。

評

	今後の実施方向性	維持
7	成果方向性	成果維持
•	コフトを向性	コフト%仕+土

動物園の大事な役割の一つである「種の保存」を実現していくため、今後も適切な飼育を行い、繁殖を促していくことが 重要である。

革コスト 維持案改革効果 (どのような効果が期待できるか)

令和 5 年度 事務事業評価表 (令和 4 年度実績)

15	1 H	5 T /		**************************************	15.11 1 17							
事	务 事	業名	動物園魅力	口向上推進事業費					担当所属	動物園		
基	分	野	6産業·観光				事	業期間	平成17	'年度 ~	, j	年
本情	基	本施策	5 観光交流の	 推進			会	計種別				
報	推	進施策	3 徳山動物園	の魅力向上			実	施計画		総合	戦略	
	\$	付 象	徳山動物園に来園	はれた方、また、徳山動物園	の情報を受け取った	方		·				
事業	TEC	意図	常に動物園から情意いサービスを提供	報を発信し身近な存在として もしようとするもの。	感じていただくことで、	動物園の魅	力を向」	上させるもの。ボ	ランティアの力を	を活用して会	先進的な耳	切組みや質の
概要	E	成 果									物園として	の魅力向上に
	111.	手 段	動物園に関する情	報を発信し、多くの人々に楽	見発し提供す	る。ボラ	ンティアの育成を	で通じ、より魅力	カある動物	園とする。		
				指標名		単位	R	2年度実績	R3年度実	績 R4年	度実績	R5年度見込
指	:=	動指標	各体験などの利用	用者数	目標値	人		250000	150000	150	0000	150000
標	石	勤 拍债			実績値	人		77292	72786 122740		2740	-
					目標達成度	%	% 30.9		48.5	8:	1.8	-
			(単位:千円)	平成31年度決算	令和2年度決	算一令	令和3年度決算		令和4年	き 決算	令和	5年度 予算
		-タルコス	(44,170	63,8	44		61,959		52,517		51,147
		事業費		14,400	16,2	.63		19,057		19,514 0		19,224
			国庫支出金	0		0	0		-			0
		بالجا	見支出金	0	1,1		1,213					0
_		B-4 1	也方債	0		0		0		0		0
ス) NE 3	受益者負担	14,400	14,7			15,744		14,507		
1		1	その他	0	3	382		2,100		3,884		5,400
			財源	0	0			0		0		0
		人件費1		29,770	47,581			42,902		33,003		31,923
		正職		29,770		47,581		42,902		33,003		31,923
			員以外	9,133	6,7		,	14,919		14,822		16,585
人	正비	(手	議費集計済分) (人)	(9,133) 4.10	(6,7 ² 6.6			14,919) 6.04	(1	4,822)		(16,585) 4.43
A	ᄪᄱ	以只		4.10	6.6	5		0.04		4.58		4.43
8	TE B	部昌以か	()	3 05	2.4	$^{\circ}$		5 12		5.07		5.07
員		裁員以外 公時の ほ	(人) 辺環境	3.85	2.4	0		5.13		5.07		5.07

「見るだけ」の動物園から「ふれあう、体験する」という新しい形の動物園運営につなげるために、体験をベースにした事業を展開している。

境

化

等

現状の周辺環境

動物園リニューアル事業により、平成28年の周南の里エリア ふれあいゾーン「るんちゃ♪るんちゃ」を皮切りに、順次新エリアがオーブンし、多様な体験プログラムを展開してい る。コロナ禍に対応するため、SNSでの情報発信を強化した。

今後の予想される周辺環境

アフターコロナという中で、地域の観光ニーズは高まってくると思われる。体験プログラムの充実や、SNSなどでの情報提供の拡大、ボランティアの活動促進などにより、動物園 の魅力向上につなげていくことが求められる。

		評価項目	評価	評価の理由
	妥_	1. 市の関与(税金支出)	Α	周南市の主要な観光交流拠点として、動物園の魅力向上を図ることは必要である。
	当日	2. 事務事業の目的(対象・意図)	Α	
	性 "	3. 事務事業の目標(活動指標等)	Α	
	±	4. 計画の実施状況	Α	新型コロナ感染防止と平常の生活の両立に向かって社会が進んでいく中、コロナに配慮しながら
	有効	5. 目標(活動指標等)の達成度	В	も体験イベントを徐々に再開した。また、情報発信におけるSNSの重要性が増していく中、引き
評	性	6. 上位施策への貢献度	В	続きイベントの取り組みやSNSなどで動物園のリアルタイムの情報を周知した。
価		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	В	
	効	8. コスト削減へのさらなる取組み	Α	魅力的な体験を中心に、ボランティアなどと協力しながら、本市の主要な観光施設として魅力向
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討	Α	上を進める。
	性	10. これまでの実施手段	В	
	総	「見る動物園」から「ふれあう、体験する動物園	」にというニー	-ズに応えながら、「環境」や「命」を学べる魅力的な取り組みを継続する。また、市内の観光施設
	合	などを併せて発信し、回遊性を高める取り組み	が必要である	3.

Α 評

	今後の実施方向性	維持
改	成果方向性	成果維持
革	コスト方向性	コスト維持

「ふれあう、体験する」にというニーズに応える魅力的な事業を行いながら、来園者の増加につなげる。また、来園者によ ──る地域の周遊性を高めるよう、近隣の施設や中心市街地などとの連携の在り方について検討する。SNSなどの利用を さらに進め、より広域に認知を高めていく。

改革効果(どのような効果が期待できるか)

動物園の来園者による地域経済への波及効果の向上、また、地域資源との連携による相乗的な動物園の魅力向上